



いずみのひろば



『恐れることはない』

ルカによる福音書 1章26節—38節

ある日、神さまは天使ガブリエルを、ガリラヤのナザレという町に住んでいたマリヤのところに遣わしました。

天使はマリヤに、「おめでとう。恵まれた方。主があなたと共におられます。」と告げました。

マリヤは突然天使が現れたので、とても驚き、何が起こっているのかわかりませんでした。すると天使はマリヤに「恐れることはない。」と言いました。

そして、マリヤが男の子を産み、その子を「イエス」と名付けることを伝えました。その子は神の子であり、救い主となるお方でした。

それを聞いて、マリヤはとても不安になりました。結婚を約束しているヨセフは、どう思うでしょう。親戚や近所の人々は、まだ結婚していないマリヤが子ども産んだら何と言うでしょう。誰も近づかなくなって、一人ぼっちになるかもしれない・・・

戸惑っているマリヤに天使は「聖霊があなたに降り、神さまの力が、あなたを包む。」と告げます。

そこで、マリヤは決心したように「わたしは主のはしめです。お言葉どおり、この身になりますように。」と答えました。

マリヤは、すべてがわかって不安が無くなり、そう言ったのではなかったでしょう。どんなことになっても、神さまが共にいてくださることを信じたのです。

私達ちも、学校や幼稚園で困ったとき、友だちのことで悩んだとき、初めてのことをするとき、「どうしよう」「怖いな」と思うことがあります。

そんなとき、神さまは私達ちに「恐れることはない。わたしがあなたと共にいる。」と語りかけてくださいます。

怖い気持ちや不安があっても大丈夫です。そんなときこそ「神さま、助けてください。力をください。」とお祈りしましょう。

神さまはいつも私達ちに勇気を与え、励まし、一緒にいてくださいます。

お話し 辻野 公美子先生

